

2021年3月10日

令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（セントルシア）
セントルシア福祉車両整備計画に関する署名式

2021年3月10日、令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力であるセントルシア福祉車両整備計画に関する署名式がオンライン形式で行われました。

被供与団体であるセントルシア赤十字社は、日本政府の供与額 35,090 米ドルの無償資金を利用して、日本外交協会から車椅子搭載可能な福祉車両を調達することで、車椅子を利用する人々の輸送環境向上を図ります。同団体への無償資金協力は、2015年に救急車の調達への支援をして依頼、二度目となります。

本式典では、平山達夫在スリナム日本国大使及びテレンシア・ギラード事務局長が贈与契約に署名しました。また式典には、ピエール総裁、小林 JICA セントルシア事務所長、佐藤克哉二等書記官、セントルシア赤十字社関係者が出席しました。

平山大使は挨拶の中で、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響は、人や国、地域を選ばず、残念ながら脆弱な人や国をより脆弱にしている、そのため日本政府はコロナ禍との戦いの努力を続け、カリブ地域においては、日本大使館は JICA セントルシア事務所と協力して地域間や二国間で財政的、技術的な支援を実行し続けている、赤十字社の世界的な役割や地域レベルの活動に敬意を表するとともに、赤十字社の高貴な規律を賞賛しており、本計画によって調達する車両が効率的、効果的に利用されることを期待すると述べました。

ピエール総裁は、信頼できるパートナーである日本大使館と赤十字社の継続的な協力関係を強調し、本車両は赤十字社のものではなくセントルシア国民のものであり、不自由を抱える人々を手助けする同団体の責務を継続する一助になると述べました。ギラード事務局長は、本車両を適切な維持に精一杯取り組むことを誓うと述べました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントルシアに対する支援を実施していく考えです。



お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



平山大使によるスピーチの様子



ピエール総裁（右）による謝辞



平山大使が贈与契約書に署名する様子



ギラード事務局長が贈与契約書に署名する様子



署名後に挨拶を交わす様子（左から、ギラード事務局長、ピエール総裁、佐藤書記官、平山大使）



お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp